

MP継手プレート type-SC 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用途

■ 継手の補強に使用します。



ハウスプラス住宅保証(株)性能試験

特長

- 本体を2枚1組で使用することにより、引張耐力56.4kN、129.8kNを有します。
- 在来軸組工法の腰掛け鎌継等による継手と併用することで複雑な木材加工をせずに使用できます。

付属品

TPSC-56、TPSC-56B	ビスHES-60(シルバー)×32本
TPSC-129、TPSC-129B	ビスHES-60(シルバー)×56本

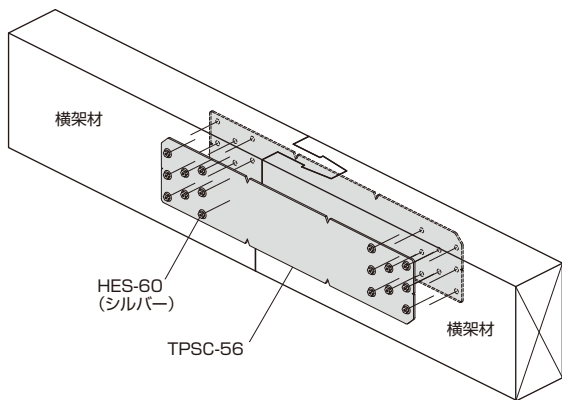
材種: オウシュウアカマツ対称異等級集成材 E105-F300以上		
型番	TPSC-56、TPSC-56B	TPSC-129、TPSC-129B
木材断面(mm)	105×210以上	105×270以上
短期基準引張耐力(kN)	56.4	129.8
初期剛性(平均値)(kN/mm)	49.2	64.2

※せん断力を負担することはできません。別途せん断負担用の継手加工あるいは接合金物を設けてください。

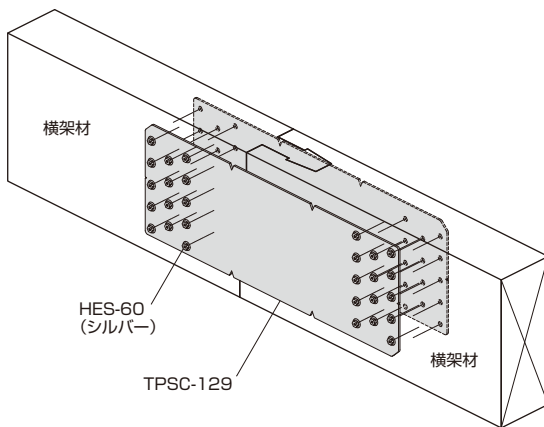
取付例

※せん断力を負担できる継手と併用してください。

TPSC-56



TPSC-129



注意事項

- 各製品の対応材材にご注意ください。
- せん断力を負担できる継手と併用してください。
- 継手加工は本体中央のVノッチB間(180mm)に取めてください。(裏面参照)
- 型番にBがつく製品はクロメートメッキ+静電粉体焼付塗装(ブラック)です。受注生産品ですので、納期を事前にお問合せください。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の効果が得られませんのでご注意ください。
- ビス接合用の六角ソケット(10mm)または四角ビット(#3)は別売品です。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

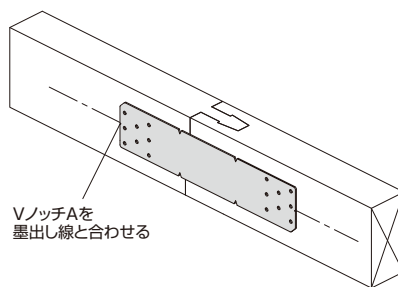
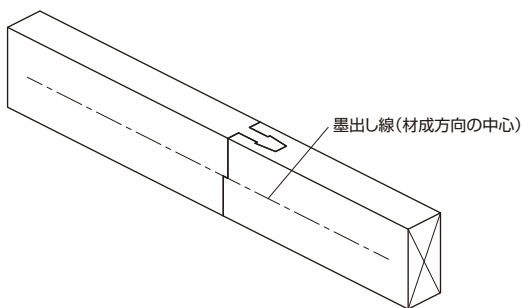
BXカネシン株式会社

営業本部 / 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-53-10 朝日生命新小岩ビル3階 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077

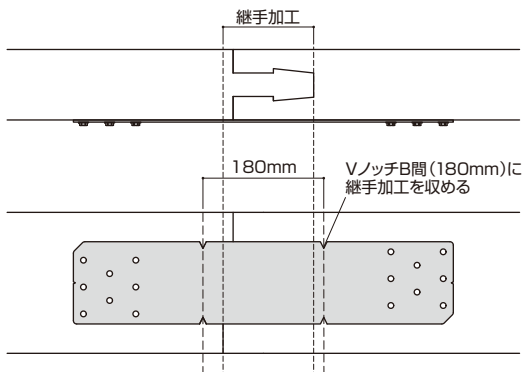
K20260630A

施工方法

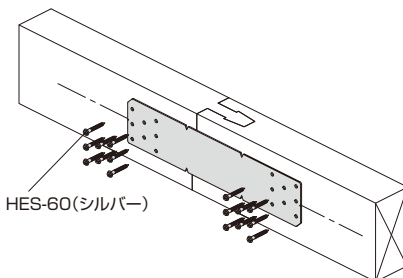
- ① 横架材同士を継ぎ合わせ、材芯(材成方向)に墨出しをします。 ② 本体のVノッチAと①の墨出し線を合わせます。



- ③ 継手加工を本体中央のVノッチB間(180mm)に収めます。



- ④ 付属の専用ビスで本体を木材に接合します。
 ※六角ソケット(10mm)、四角ビット(#3)のどちらでも施工可能です。
 ※下穴なしでも施工可能ですが、樹種や施工環境によっては、下穴(φ5mm以下)を空けて施工します。

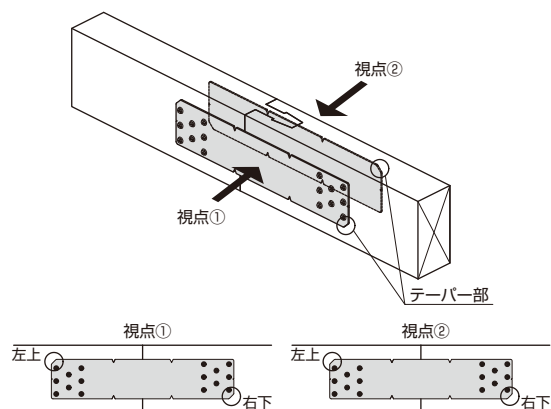


- ⑤ もう一方の面も同様に①～④の手順で施工します。
 この時、本体施工面と位置の合わせ方に注意してください。(下図を参照)

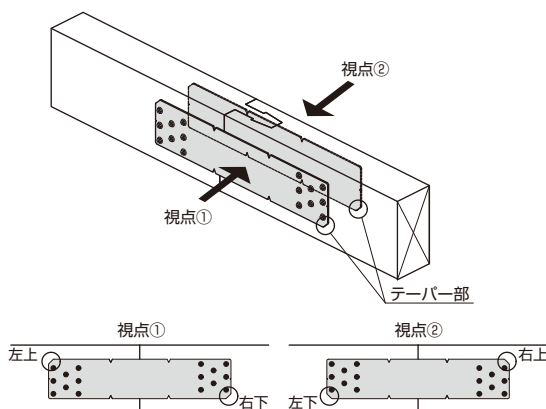
本体施工面の確認

どちらの面から見てもテーパ部が同じになるように2枚を組み合せてください。本製品は裏表なくどちらの面も同様にご使用いただけますが、2枚の組み合わせによってはビスが干渉します。ビスの干渉を防ぐため、テーパ部を用いて施工面を確認します。

OK例 どちらの面から見てもテーパ部の位置が同じ



NG例 それぞれの面から見てテーパ部の位置が違う



位置の合わせ方

木材を介した本体2枚の位置を揃えます。

